



ニュースレター 第11号  
 2017年6月

スバイリエン州主導の出生直後の新生児ケア研修始動

2017年3月より、スバイリエン州医療従事者向けに「出生後直後の新生児ケア (INC:Immediate Newborn Care)」研修を実施支援を開始しました。スバイリエン州では研修講師の資格を持つ人材が僅かだったため、まずプノンペンの国立母子保健センター研修部で、スバイリエン州のための同研修を実施しました。国立母子保健センターで行われた計3回の研修では、スバイリエン州の研修講師育成も同時に行い、6人の講師が誕生しました。そして今月、スバイリエン州の講師が独立し、晴れて同州でINC研修を実施することができるようになりました。講師人材が育ったところで、プロジェクトではINC研修に必要な研修機材一式を供与しました。スバイリエン州の主導での、初のINC研修の様子をお伝えします！



州保健局母子保健課長と技術課長。二人のリーダーシップで初のINC研修にこぎつけました



手洗い後の手指のチェックの様子



INC知識テストを受ける受講生たち



INC知識テストの採点を行う、スバイリエン州の講師たち



INCの実施スキルをチェックするスバイリエン州の講師たち



終了後、受講生、講師、日本人専門家にて記念撮影

**INC研修のための人材・環境がともに整備されたスバイリエン州。同州保健局は、INC研修が必要な州内全医療従事者（約150名）への100%研修実施を目指し、すでに今年度中の研修実施計画を立てています。今年度にこの目標を達成するべく、プロジェクトも全力で実施支援を続けていきます。**

現地スタッフ紹介 (コンポンチャム事務所編)

真崎専門家（2017年4月着任）がリードするコンポンチャム事務所。（本プロジェクトはプノンペン事務所に加え、コンポンチャム州にサテライト事務所を設けています。）コンポンチャム事務所で働く2人のカンボジア人スタッフを紹介します。



ロウン・ブンナ  
 (テクニカル・アシスタント)

新生児死亡率を下げるという目的の下、様々な研修、機材の供与等を行うこのプロジェクトでテクニカル・アシスタントとして働くことができ嬉しいです。このプロジェクトで成果を上げ、成功につながるように頑張りたいと思います。



ボーン・ポーン  
 (ドライバー)

運転手としてこのプロジェクトで働くことができ嬉しいです。このプロジェクトは、カンボジアの新生児の命を救うためとても大切なプロジェクトだと思います。皆さんにこのプロジェクトのことを知ってもらい、ぜひ他の国々にも紹介して頂きたいと思います。もし他の国々からゲストとして来てくださったら、喜んでいろんな場所へ車でお連れしたいです。